

令和7年7月18日
一般財団法人長岡花火財団



長岡花火

2025 長岡まつり大花火大会情報

8月2日（土）・3日（日）の両日、3つの想いを込めて長岡花火を打ち上げます。

慰霊長岡空襲から80年。両日の冒頭に、長岡まつり大花火大会を育て発展させた花火師・故嘉瀬誠次さんが命名した「白菊」を、戦争で亡くなった方への慰霊を込めて空に手向けます。

復興フェニックス花火が誕生してから20年。全国からのご支援により、今日まで育ていただいた復興のシンボルを、圧倒的なスケールのスターメインとして打ち上げます。

平和への祈り日本一の大河、信濃川が舞台だからこそできる尺玉の光と音を、来場いただいた全ての皆様と共感することで、末永く続く平和を願います。

本年度は土曜日、日曜日開催となることから、国内外より多くのお客様の来場が見込まれます。雑踏対策、熱中症対策に加え、インバウンド対策もさらに強化して開催します。

1 大花火大会について

（1）花火プログラム

- ・昨年度と同台数（39台）を打ち上げます。（別添プログラム参照）
- ・復興祈願花火フェニックスは、平成17（2005）年の誕生から20年。今年も平原綾香さんのJupiterとともに打ち上げます。これまでにさまざまな深化（進化）を遂げてきた復興のシンボル。今年度も、会場の皆様が「ハッ」とする構成にご期待ください。
- ・本年度も橋脚工事のため長生橋のナイアガラの上を見送りますが、長生橋ライトアップとコラボレーションした正三尺玉を打ち上げます。
- ・昨年、グレードアップしてお届けした冒頭のナイアガラ超大型スターメイン。長岡まつり大花火大会のスケール感を感じることができるミュージックスターメインとして、大手大橋のナイアガラと共に打ち上げます。

（2）新たな観覧席の新設

- ・左岸の大手大橋下流に「てくてく前ブロック指定席」を新設、陸上競技場フィールド席を全席イス席とすることで、長時間並ぶ観覧者を減少させ、熱中症対策をさらに強化しました。
- ・左岸陸上競技場内に車いす席を新設。右左岸ともに体が不自由な方でも観覧できます。

2 万全の安全対策で観覧客をお迎えします

（1）警察官、警備員、ボランティアなど万全の警備・案内誘導体制でお出迎え

- ・関係機関としっかりと連携し、万全な体制を整え、観覧客を安全・安心にお迎えすることを最優先に準備を進めています。
- ・長岡警察署をはじめとした、新潟県警本部からの動員協力に加え、民間警備員や市役所職員、ボランティアスタッフなど、2日間で延べ約4,500人体制（昨年度から約100人増）で、全国からの観覧客を安全にお迎えします。特に会場内の危険箇所への配備や帰りの長岡駅への安全誘導など、混雑状況に応じた適切な配置により、雑踏事故の防止に努めます。

【安全対策の強化ポイント】

- 「混雑エリア」、「時間帯」に応じた警備の実施
- 視覚・聴覚に届く効率的な広報（プラカード・電光看板・パトロールカー）

○長岡駅利用者の方面別誘導の強化、熱中症対策への声掛け

○民間看護師及び市職員の保健師の配置を増強し、傷病者への初動を強化

(2) 雑踏事故防止のため県内外で「チケットをお持ちでない方は

会場には入れません」を PR

- ・今年も大手大橋東詰バス停前（ウオロク長岡店様前）の道路は開放しません。
- ・無料観覧席がないため、チケットを持たない方の来場についてご遠慮いただくよう昨年に続き周知しています。

【ポスターなどの掲出】

- ・首都圏 SA（蒲田、羽生、守谷、三芳ほか） 県内 SA（米山、黒崎、越後川口ほか）
- ・県内セブンイレブンの協力により約 450 店舗に掲出

【デジタルサイネージなどの掲示】

- ・県内全てのデジタルサイネージ設置の SA、PA（44 枠）（東日本高速道路様の協力により無料）
- ・県内全てのデジタルサイネージ設置の駅
- ・県内ファミリーマート（7/29～8/3）における音声 CM

【YouTube・TVer】

- ・「長岡まつり」などのキーワード検索に連動した効果的なアプローチ配信

【新聞折込】

- ・県内自治体（長岡市、佐渡市、淡島浦村を除く）にて実施。（約 41 万部印刷）



(3) 会場へお越しいただけない方への対応

家でも花火が十分に楽しめるよう、テレビ、YouTubeLive などでの生配信を実施

- ・8月2日 午後7時～9時30分〔予定〕（全国放送）
「大迫力！長岡の大花火 2025 スペシャルライブ」（NHKBS / BS プレミアム 4K/BS8K）
- ・8月2日・3日 午後7時～9時30分
NCTほかケーブルテレビのネットワークで全国各地に生放送
- ・8月2日・3日（午後7時から） 長岡花火公式 YouTubeLive

3 インバウンド対策

(1) 「みえる通訳」の導入（新規）

- ・タブレットからテレビ電話形式でオペレーターが外国人や聴覚障がい者の方との会話をリアルタイムで通訳します。（英語、中国語、韓国語ほか全7言語。長岡駅前案内所を含めた右岸3カ所と、左岸警備本部の合計4カ所に設置。

(2) インバウンド専用チケット窓口の設置

- ・外国人客の増加を見込み、外国人専用の購入サイトを開設。当日は、Dia Plaza 長岡（城内町2-3-12）にインバウンドチケットセンターを設け、外国人へのチケットの受け渡しを含めた対応・案内を実施します。

(3) 通訳ボランティアの配置

- ・会場までの案内拠点4カ所（長岡駅前、アオーレ、神明公園、陸上競技場）に通訳ボランティアを配置し（英語通訳19人／2日間）、外国人来場者にも円滑な案内を行います。

4 その他

年間をとらして長岡花火を応援いただいている長岡花火オフィシャルパートナー5社が、社会貢献事業の一環として、諸事情により花火を見たくとも見られない子どもたちからも花火を見てもらいたいとの思いから、フードバンクなどに花火観覧チケットを寄付しました。（詳細は添付のリリース（別紙3-2のとおり）

（問い合わせ：一般財団法人長岡花火財団 0258-39-0823）